

さあ、歴史と文化の道を歩こう

自然の中の道に、色濃く残る歴史と文化。土佐塩の道は、心癒やされ、体が喜ぶウォーキングコースです。  
『美しい日本の歩きたくなるみち500選』にも選ばれたこの道は、随所に見所が盛りだくさん。

毎年春にはウォーキングイベント、秋にはトレイルランの大会が開催され、多くのファンを獲得しています。いきなり全部歩かなくても、初心者向けの短いコースから始めてみては？  
さあ、心と体をリフレッシュする山歩きに出かけましょう！

◆ガイドの予約

半日ガイド：6千円（案内人1人）  
1日ガイド：1万円（案内人1人）  
※1人の案内人に対応できるのは10人程度

◆案内帖

詳しいコースや見所、塩の道の昔語りなどを掲載した案内帖を、1冊250円で販売中 ※無料のパンフレットもあり

◆問い合わせ・申込先

香美市観光協会 ☎53・1084

いざゆかんっ！

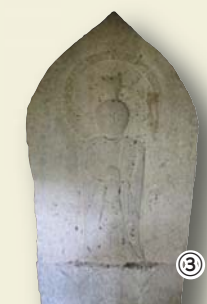
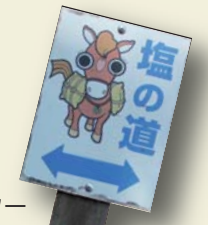
塩の道！！



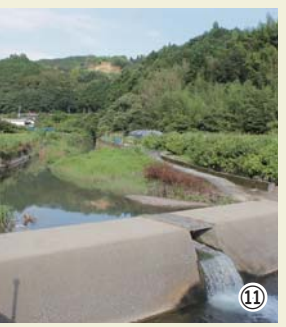
①中谷川登り口。塩の道のルートには、要所で行き先を示す石柱やさくら丸の立て札があるので安心！ ②臼杵店屋跡。当時としては非常に凝った造りで、香北や山田からもわざわざ建物を人に訪れた ③庄谷相馬頭観音。物資運搬の要だった馬の安全を祈願した。頭の上に馬の顔が乗った姿をしている



塩の道のキャラクター さくら丸が案内



④源太坂。悲恋の末に罪を犯した源太という若者が、赤岡の奉行所に連れられる途中、故郷との別れを惜しみ歌をうたったという ⑤黒見休憩所。塩の道保存会が手作りで整備した。四季折々の花が咲く ⑥熊王山の丁石・吉野お大師丁石。ここは東西に塩の道、南北に物部川流域と西川地区を結ぶ往還道の四つ辻だった ⑦泡ヶ瀬見渡し地蔵。橋が架かっていない時代、川を渡る人々の安全を見守った ⑧お大師岩。弘法大師が、転げ落ちてきた大岩を手で受け止め、その時の手形が残っていると地元で語り継がれている ⑨遠くの山々が見渡せる絶景ポイントがたくさん ⑩西川花公園。香我美町中西川地区の住民の皆さんが、心をこめて育てた花が咲き誇る ⑪馬淵。荷物を背に積んだ馬の足を冷やし、休ませた ⑫宗我神社。2つの狛犬が子どもを抱えている姿が全国的にも珍しい ⑬陶器製の灯明台。赤岡はかつて焼き物の産地でもあった ⑭一大製塩地として栄えた赤岡の砂浜。塩市跡には現在、塩屋という餅屋があり、当時の名残が屋号として残る



⑩

あなたもきっと歩きたくなる

